

体育科学習指導案

指導者 熊野町立熊野第四小学校
教諭 ○○ ○○

- 1 日時 令和3年2月3日(水) 第5校時 熊野第四小学校体育館
- 2 学年 第2学年○組
- 3 単元名 「エンジョイジャンピング!～ほたるオリジナルとびぼこランドづくりを通して～」
B 器械・器具を使つての運動遊び エ 跳び箱を使つた運動遊び

4 単元について

(1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領(平成29年告示)解説体育編第1・2学年「B 器械・器具を使つての運動遊び」「エ 跳び箱を使つた運動遊び」を受けて設定した。跳び箱を使つた運動遊びでは、跳び乗りや跳び下り、手を着いてのまたぎ乗りやまたぎ下りをする力(知識及び技能)や、走つて跳び乗つた後、手を叩いたり、回つたりして着地するなど、いろいろな着地の仕方を選ぶとともに、友だちのよい動きを見付けたり、考えたりしたことを友だちに伝える力(思考力、判断力、表現力等)、運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりする力(学びに向かう力、人間性等)を育成することをねらっている。

(2) 教材観

本単元は、跳び箱を使つた運動遊びを基に、ほたるオリジナルとびぼこランドづくりという教材を設定する。ほたるオリジナルとびぼこランドづくりは児童同士がいろいろな跳び方ができるコースをつくる活動で、主な特徴は2点ある。

1点目は苦手な児童でも取り組めるということである。跳び箱を使つた運動遊びに取り組むにあたって、跳び乗ることや跳び下りに苦手意識をもっている児童がいる。そこで、本教材は「友だちが楽しめるように」ということを前提として跳び箱を使つて様々なコースをつくることで、苦手な児童でも進んで取り組みやすいようにしている。

2点目はコースづくりの視点を絞っているということである。自由につくらせると様々な意見が出てきて、児童だけでは集約しにくいことが予測される。そのため、「跳び乗り・跳び下りの仕方」「用具の使い方」という2つの視점에絞つてコースづくりを行うことで、児童も考えを深めていくことができる考える。

また、本単元では、児童に跳び箱を使つたコースづくりに取り組ませる中で、実態に応じて、コースの数や用意する道具を変更していくこととする。

(3) 児童観

児童の実態についてアンケートをもとに記載しています。

(4) 指導観（ゴシックは共生の視点）

指導にあたっては、チームの構成を工夫し、チームごとに「友だちが楽しめるように」という考えを基にパートに工夫を加えたり、チームでオリジナルコースを考え、ほたるオリジナルとびぼこランドを作成したりする活動を通して、学級の友だちとの関わる時間を増やし、仲間と協力する良さや仲間とつくり上げたときの達成感を味わわせたい。

また、自己の課題（跳び乗ることや跳び下りること）を解決するために、授業の前半の時間を使ってドリル運動を取り入れつつ、セーフティーマットを使って安全性を高めたり、跳ぶことを簡易化したゲームをして意欲を高めたりする活動を通して跳び箱の基礎となる感覚を身に付けていき、自己の課題を解決していく。

また、グループの課題（個人の意見を大切にすることや話合いで折り合いをつけること）を解決するために、話合いをするときのルールを決めることとする。ルールは2つ設ける。1つ目に「どんな意見も大切にすること」である。このルールを設けることで、声に出して言うことを苦手としている児童の意見も取り入れられたり、別の場面でのヒントになったりする可能性も出てくる。2つ目に「グループ全員が納得すること」である。このルールは特別活動での話合い活動でも取り入れており、児童も受け入れやすいものである。自分の意見が通らなくても次に生かしたり、友だちの意見もいいなと思ったりする考えをもってもらいたい。このようにルールを設定することで、チームの課題を解決していくようにする。

このような指導の中で、児童が跳び乗り方や跳び下り方を工夫したり、友だちが苦手としていることや話合いを通して決まったことを基に、自分のチームに合ったコースをつくったりすることで、誰もが跳び乗り・跳び下りすることの楽しさや喜びを味わえるようにしていきたい。

5 単元の見目

知識及び技能	跳び箱を使った運動遊びの行い方を知り、跳び乗りや跳び下りをしたり、手を着いてのまたぎ乗りやまたぎ下りをしたりすることができる。
思考力、判断力、表現力等	器械・器具を用いた簡単な遊び方を工夫するとともに、いろいろな着地の仕方を選んだり友だちのよい動きを見付けたりしながら、考えたことを友だちに伝えることができる。
学びに向かう力、人間性等	運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができる。

6 単元の評価規準

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 跳び箱を使った運動遊びの行い方を知ることができる。 跳び乗りや跳び下りをすることができる。 手を着いてのまたぎ乗りやまたぎ下りをすることができる。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 器械・器具を用いた簡単な遊び方を工夫することができる。 いろいろな着地の仕方を選ぶことができる。 友だちのよい動きや考えたことを友だちに伝えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に運動遊びに取り組もうとしている。 順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をすることができる。 場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができる。

7 指導・評価計画案 (全5時間)

次	第1次	第2次		第3次	
時数	1	2	3 (本時)	4	5
0分 学習の流れ 45分	①オリエンテーション (用具や場の準備・学習のルールなどの確認)	整列・挨拶・準備運動・場の準備			
	②ホップ (跳ぶ)	めあての確認			
	③ステップ (回転する)	友だちが考えたオリジナルのうごきのよさを見つけることができる。	NEWパートを体けんして、その工夫のよさを伝えることができる。	とびのりやとびおり、用具の使い方をくふうしたコースをつくることができる。	ほたるオリジナルとびばこランドで楽しむことができる。
	④ジャンプ (支持する・着地の仕方)	ホップ (跳ぶ)		レベルアップ (コースをつくる)	
	⑤片付け・振り返り・挨拶	ステップ (回転する)		チャレンジ (跳ぶことを楽しむ)	
		ジャンプ (支持する・着地の仕方)		片付け・振り返り・挨拶	
主な評価規準	知・技			○	○
	思・判・表	○	○		
	学びに向かう	○		○	○

8 本時の学習展開

(1) 本時の見目

- 跳び箱を使った運動遊びを通して、友だちが考えた工夫のよさを見付けたり、考えたことを伝えたりすることができる。(思考力、判断力、表現力等)

(2) 学習の展開

主な学習活動	◇指導上の留意点 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て ◎共生の視点	評価(☆) 【評価方法】
1 準備運動,ドリル運動 (基礎となる感覚を身に付ける動き)をする。 2 各パートに分かれて準備を行う。 3 本時のめあてを確認する。	◇音楽を使って準備運動,ドリル運動に取り組むことで、切り替えを意識させる。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 自分の体を腕で支える感覚 ・かえるの足打ち ・かえる倒立 ・ブリッジ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 手の突き放しの感覚 踏み切って着地する感覚 ・馬跳び </div> </div> ◇準備の時間短縮のため、あらかじめ印を付けておき、各パートのリーダーを中心に準備するようにする。	
NEWパートを体けんして、その工夫のよさを見つけることができる。		
4 各パートの運動遊びに取り組む。 5 話し合いにより決めておいた工夫を各パートに加える。 6 NEWパートで運動遊びに取り組む。【Aグループ】 7 NEWパートで運動遊びに取り組む。【Bグループ】 8 NEWパートで工夫されていて良かったところを書き、兄弟班で共有する。 9 各パートに分かれて片付けを行う。 10 振り返りを行う。	◇各パートの変化に気付くことができるように、どのパートの運動遊びにも取り組めるようにする。 ◎児童相互で工夫が伝わりやすいように「跳び乗り・跳び下りの仕方」「用具の使い方」の2点に絞って工夫を考えさせておく。 ◇次の活動につなげて運動量を確保するために、事前に決めておき、パートの全員が説明できるようにしておく。 ◎各パートに付箋を用意しておき、パートの運動遊びに取り組むごとにそれぞれの工夫のよさを書けるように準備しておく。 ◆伝えることが難しい児童にニコちゃんマークなど言葉以外でも伝えられる物を用意しておく。 ◎「跳び乗り・跳び下りの仕方」「用具の使い方」の2つの視点から良さを共有し、達成感を味わわせる。 ◆伝えることが難しい児童に話型やヒントカードを用意しておく。	☆跳び箱を使った運動遊びを通して、友だちが考えた工夫のよさを見付けたり、考えたことを伝えたりすることができる。 (思考・判断・表現) 【行動観察】 【ワークシート】